

駐車場情報

※ 観音寺港周辺に駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用ください。

観音寺駅からフェリー乗り場まで徒歩で約30分です。

レンタサイクルは観音寺市観光協会案内所・ハイスタッフホール・

大正橋プラザで借りられます。



観音寺市
スローサイクリング
マップ

シャトルバス時刻表

〒768-0060 香川県観音寺市観音寺町甲1186-2				〒768-0062 香川県観音寺市有明町13			
ハイスタッフホール (まちなか交流駐車場)		観音寺港		有明グラウンド 土・日・祝のみ運行		観音寺港	
1便	07:00	▶	07:10	07:00	▶	07:10	
2便	07:30	▶	07:40	07:30	▶	07:40	
3便	08:40	▶	08:50	08:40	▶	08:50	
4便	09:10	▶	09:20	09:10	▶	09:20	
5便	10:00	▶	10:10	10:00	▶	10:10	
6便	10:30	▶	10:40	10:30	▶	10:40	
7便	11:00	▶	11:10	11:00	▶	11:10	
8便	12:55	▶	13:05	12:55	▶	13:05	
9便	13:45	▶	13:55	13:50	▶	14:00	
10便	15:20	▶	15:30	15:20	▶	15:30	
11便	15:50	▶	16:00	15:50	▶	16:00	
12便	17:20	▶	17:30	17:20	▶	17:30	

10月18日(土)・19日(日)は、観音寺子ども園駐車場をご利用ください。
シャトルバスは、観音寺子ども園駐車場、JR観音寺駅からご乗車いただけます。

伊吹航路

	観音寺発		伊吹島着		伊吹島発		観音寺着	
1便	06:10	▶	06:35		07:00	▶	07:25	
2便	07:50	▶	08:15		09:00	▶	09:25	
3便	* 09:30	▶	09:55		* 10:10	▶	10:35	
4便	* 10:50	▶	11:15		* 12:00	▶	12:25	
5便	11:20	▶	11:45		13:30	▶	13:55	
6便	* 13:15	▶	13:40		* 15:00	▶	15:25	
7便	15:40	▶	16:05		17:10	▶	17:35	
8便	17:50	▶	18:15		18:30	▶	18:55	

定員：140名 * = 96人

料金：片道／大人 600円
片道／子ども 300円

※ * は芸術祭の会期中のみ
運航します。

お問い合わせ
瀬戸内国際芸術祭
観音寺市実行委員会
(観音寺市商工観光課内)
☎ 0875-23-3933

▶ 観音寺市の情報はここから

伊吹島や観音寺市での滞在をもっと楽しむために、
宿泊施設や観光スポット、グルメの情報をまとめました。
歴史ある町並みや新鮮な海の幸も満喫できます。



観光地



宿泊



飲食店

観音寺市観光協会ウェブサイト

伊吹島

IBUKIJIMA

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 5



公式アプリ無料ダウンロード
Official application download for free



伊吹島オフィシャルサイト
<https://ibuki-island.jp>



Photo : Takashi Sawarame

瀬戸内海、ど真ん中。

In the middle of
the Seto Inland Sea



伊吹島

I B U K I J I M A

秋会期

10月3日 | 金 | — 11月9日 | 日 |

休み 10月23日 | 木 |、30日 | 木 |

良質なカタクチイワシの煮干し「伊吹いりこ」の生産が盛んで、全国的にも有名な伊吹島。日本で唯一、平安時代の京言葉のアクセントを残し、独特の文化が受け継がれてきました。香川の端っこ、瀬戸内海のだ真ん中で国際色豊かなアーティストたちが作品を発表しています。

Ibuki island is famous throughout Japan for its production of Ibuki Iriko, a high-quality dried Japanese anchovy. It is the only island in Japan that retains the accent of the Kyoto dialect of the Heian period (794-1185), and a unique culture has been passed down from generation to generation. On the edge of Kagawa Pref, in the middle of the Seto Inland Sea, international artists present their works.

江戸の地割が残る道

真浦港から集落まで急な坂を上り、島の集落を歩くと、細い道がくねくねと伸びています。まるで迷路のような構造をした道の作り方。これは、「道が江戸時代の地割のまま」であるためです。路地を曲がるたびに変わりゆく昔ながらの景色からは、風情が感じられます。



Photo : Kotaro Yamada

Walking up the steep hill from Maura Port to the village and through the island's village, one finds a narrow path winding its way through the village. The way the road is constructed is like a maze. This is because the roads remain as they were in the Edo period (1603-1867). The old-fashioned scenery, which changes with each turn of the alleyway, gives a sense of elegance.

Photo : Takashi Sawarame

IBUKIJIMA MAP & ARTWORKS

北浦港
Kitaura Port



100m

ハートのベンチ ◆

Sun and Moon ■
アーティスト「KASA」と
観音寺総合高校の生徒との
フィールドワークから生まれたベンチ

伊吹の樹 (2019)
tree of Ibuki
栗林隆 - 日本

ib 05

船と安らぎ

ib 14

野生の獲物 (2025)
The wild catch
オラフ・ホルツアップフェル - ドイツ

ib 13

岡村桂三郎 - 日本

イリコ庵 (2016)
Iriko Retreat
みかんぐみ + 明治大学学生 - 日本

ib 03

■ 西の堂
干 荒魂神社

いりこの
煌めき

干 伊吹八幡神社

ib 07

■ 観音寺市
伊吹支所

ib 06

トイレの家

ib 10

ib 04

ib 05

ib 02

アサギマダラ

伊吹島
民俗資料館

大きな椅子 ◆

最後の避難所 (2025)
The Last Shelter
ブンボール・ポータンザン - ラオス

ib 11

アサギマダラ

ウェルカメベンチ

ib 08

ib 09

金田一春彦歌碑 ■

真浦港
Maura Port

EVENT

E 17

Come and Go in 伊吹島
Come and Go in IBUKI

ひびのこづえ

10月18日(土) ①14:00 ~ ②16:00 ~
10月19日(日) 14:00 ~

EVENT

観音寺市内

E 18

よるしるべ 2025
Yorushirube2025

10月31日(金) ~ 11月3日(月)
18:00 ~ 21:00

EVENT

E 19

せっぽくびすとるず 瀬戸内神出鬼没
Seppuku Pistols Setouchi Tours

切腹ビストルズ
11月1日(土)

NOTICE

現金の用意

船のチケット購入は現金のみです。船の往復チケットを購入する
現金は確保しておくよう、充分に注意してください。

島内での移動手段

島内は徒歩で移動します。坂道が多くありますので・歩きやすい
服装・歩きやすい靴で来られることをお勧めします。
サンダルやヒールはおすすめしません。
細い路地や坂道が多いため、足元には十分に注意してください。
人やバイクとすれ違う際も十分注意しましょう。

熱中症対策

島内にコンビニエンスストアはありません。
自動販売機も少ないので、水分は必ず持参してください。

ib 12

反響 (2025)
The Echoes
ジョンベット・クスウィダナント
- インドネシア

ib 08

ものがみる夢 (2022)
The Dreaming of Things
アレクサンドラ・コヴァレヴァ&佐藤敬
/ KASA - 日本

IRIKO SMALL DRIED SARDINE

島の皆で「いりこ」作りを行い、
島は活気に包まれる。

瀬戸内海のほぼ中心部に浮かぶ伊吹島は、島の周囲を好漁場に囲まれた全国有数のイリコの産地。伊吹島の玄関口である「真浦港」の東側には、「イリバ」と呼ばれるイリコの加工場がずらりと並んでいます。イリコの原材料となるカタクチイワシ漁の解禁は6月～9月頃だけに限定。カタクチイワシを捕るパッチ網漁は、網を引く本船2隻と運搬船、探知船の4隻で行われます。網の全長は約300メートルで、かなり大型のものを 사용합니다。

Ibukijima Island, located almost in the center of the Seto Inland Sea, is surrounded by good fishing grounds and is one of the nation's leading production centers of iriko. On the east side of "Maura Port," the gateway to Ibukijima, there is a row of iriba, or iriko processing plants.

イリバ iriba
イリコ加工場



「うらら」とは伊吹島の方言で「私たち」という意味。伊吹島のお母さんたちに受け継がれてきた味を、ぜひご賞味ください。

「うららの伊吹島弁当」

島のお母さんたちが主体となり、いりこ飯や釜揚げいりこの天ぷらなど、伊吹島の食材をふんだんに使い、真心こめて作ったお弁当を提供します。お弁当のほかサイドメニューも用意しています。

営 11:00-14:00 休 木曜日
旧伊吹小学校 給食センター

数に限りがあります。売り切れの際はご容赦ください。
メニューは変更となる場合があります。

SHOPS

STORE 01

「うちのイモ天」

自家栽培のさつまいもを天ぷらにして提供

🕒 毎週土曜日 11時～12時（10月18日（土）を除く）
📍 伊吹町974

STORE 02

「まっちゃん」

飲食、いりこめし定食の提供、手作り小物の販売

🕒 10時～16時 休 CLOSE 木・金 | 臨時休業: 11/3・9
📍 伊吹町387-4

STORE 03

「ヒラサンバーガー」

ハンバーガー、飲み物

🕒 10時～17時 休 CLOSE 不定休
📍 伊吹町

STORE 04

「ホットドック 磯」

調理パン

🕒 8時30分～17時30分 休 CLOSE 不定休
📍 伊吹町宮ノ前265番地2

STORE 05

「古民家 cafe M」

飲食店

🕒 10時～15時 休 CLOSE 不定休
📍 伊吹町340

STORE 06

「上福水産」

えび、ヒイカ、野菜の天ぷらの伊吹井、魚などの天ぷら

🕒 10時～15時（土日祝のみ）
📍 伊吹八幡神社の広場

STORE 07

「フローラ・ラロフ」

アイスソフトクリーム、もももみシェーク、ドーナツ等焼菓子

🕒 9時30分～16時 休 CLOSE 不定休
📍 伊吹町902

STORE 08

「伊吹島元気隊」

ソフトドリンク及びTシャツ等の物販

🕒 10時～16時 休 CLOSE 不定休（土日祝営業）
📍 伊吹町30-2（ウェルカメベンチ横の家）

STORE 09

「伊吹漁協」

いりこ・衣料品

📍 真浦港前

STORE 10

「合田商店」

雑貨・食料品・飲料水

休 CLOSE 不定休
📍 伊吹公民館手前交差点角

JAPANESE HOTEL

HOTEL 01

「春日旅館」

島の素材をふんだんに使った、新鮮でボリューム満点の食事に舌鼓。お一人様から団体様までお気軽に。

📞 0875-29-2416

📍 伊吹町5-2

CULTURE



伊吹八幡神社秋祭り

Ibuki Hachiman Shrine Autumn Festival

10/4(土)・5(日)

With a history of more than 200 years, this locally famous festival is held in early October every year to pray for a good harvest and good health, and people parade around the island carrying a portable shrine called "Chousa". At Hachimangu Shrine, a powerful kaki-kurabe (lift up contest) is held, and visitors cheer loudly.



出部屋 Debeya

伊吹島では、出産は各家でおこない、その日の内もしくは翌日に出部屋という施設に入る習慣がありました。30日間だけ、母子だけで別火の生活をします。今では考えられない生活風習ですが、母子の健康を考える上での昔の人の知恵だったのかもしれません。

ib
05

伊吹の樹 (2019)
tree of Ibuki

出部屋跡地に設置
Installed at the debeya site

On Ibukijima, it was customary for the birth to take place at each family's home, and either the same day or the next day, the mother and child would live in a separate room for 30 days. This is an unthinkable custom today, but it may have been the wisdom of the people of the olden days in considering the health of the mother and child.

HISTORIC SPOT



伊吹八幡神社

Ibuki Hachiman Shrine

伊吹八幡神社は西暦1124年に創建されました。大鳥居は明治14年に再建。島の道は狭い道が多いものの、ちょうさの通る道は江戸時代より造られた広い道です。

Ibuki Hachiman Shrine was founded in 1124. Although many of the island's roads are narrow, Chousa's path is a wide road that has been built since the Edo period (1603-1867).



荒魂神社・西の堂

Aratama Shrine • Nishi no Do

夏に夜神楽が行われる荒魂神社。その横に西の堂があります。西の堂は、島の人から「おこじ」と呼ばれており、江戸時代には井戸が掘られ、水を求めに来ていました。

Aratama Shrine where night kagura performances are held in summer. Nishi no Do is called "Okoji" by the islanders, and during the Edo period, a well was dug and people came to the island for water.



泉蔵院

Senzoin Temple

西暦1124年に開山と歴史はとても古く、境内には古いお墓が多く残っています。島は以前まで土葬でしたが、墓から洗骨した骨を境内の墓に入れ、拝み墓としています。

The temple was founded in 1124 A.D. Many old graves remain in the precincts of the temple. The island used to be a burial ground, but the bones are washed from the graves and placed in the graves.



伊吹島民俗資料館

Ibukijima Folk Museum

打瀬舟など漁に使われた漁撈用具、独特のしめ飾り「懸の魚(かけのいお)」、生活道具や農機具、平安時代から島に残る京言葉の調査など様々な資料が展示されています。かつての島の生活が多くの写真からうかがえ、大変見応えがあります。

24H 休 CLOSE なし

Various materials are on display, including fishing tools used for fishing, such as uchise boats, a unique ornament called "kake no io," tools for daily life, farming implements, and a survey of the Kyoto dialect that has remained on the island since the Heian period (794-1185). Many photos of life on the island in the past are worth seeing.

ASAGIMADARA CHESTNUT TIGER

アサギマダラ | 浅葱斑

旅する蝶、アサギマダラが彩る伊吹島

伊吹島は、瀬戸内海に浮かぶ自然豊かな島であり、秋になると「旅する蝶」として知られるアサギマダラが訪れる地としても有名です。アサギマダラは体長約10センチほどの大型のチョウで、黒と白、青みがかった美しい羽を持ち、数千キロに及ぶ長距離移動を行うことで知られています。春から初夏にかけて北上し、秋には南へと旅立つその姿は、まるで季節を告げる使者のようです。

Ibuki Island is a naturally rich island floating in the Seto Inland Sea, and is also famous as a destination for the Asagimadara butterfly, known as the “traveling butterfly,” which visits in autumn. The Asagimadara is a large butterfly measuring about 10 centimeters in length, with beautiful black, white, and bluish wings, and is known for its long-distance migration of several thousand kilometers. From spring to early summer, they migrate northward, and in autumn, they head southward, their journey resembling that of a messenger heralding the seasons.

アサギマダラ鑑賞スポット

Viewing Spot

● 旧伊吹小学校
Former Ibuki Elementary School

● 伊吹島民俗資料館
Ibukijima Folk Museum

● 真浦港北西休耕地
Fallow land northwest of
Maura Port

伊吹島では、10月頃に多くのアサギマダラが休息のために立ち寄り、群れを成して舞う光景が見られます。その幻想的な姿は、訪れる人々を魅了し、自然の神秘を実感させてくれます。花の蜜を求めて舞い降りるアサギマダラを間近に観察できるのも、伊吹島ならではの体験です。芸術祭の鑑賞とあわせて、ぜひこの島でしか出会えない自然の美しさをご堪能ください。

In October, many Asagimadara butterflies stop by Ibukijima Island to rest, and you can see them dancing in swarms. Their fantastical appearance captivates visitors and gives them a sense of the mystery of nature.

NATURE SPOT



石門

Stone Gate

● 伊吹島の北側
North side of Ibukijima

⊗ 徒歩では行けません
It is not possible to walk there



伊吹島の北端に位置する「石門（いしもん）」は、長い年月をかけて海水の浸食によって形づくられた、自然が生み出した大きな岩の門です。荒波に削られ、ぽっかりと空いた大きな穴は、まるで自然がつくり出した芸術作品のようで、訪れる人々を魅了します。この独特の地形には、かつての水軍がここから船出したという伝説が残されており、歴史とロマンを感じさせる場所として島民に語り継がれてきました。

Located at the northern tip of Ibuki Island, “Ishimon” is a magnificent rock gate created by the erosion of seawater over many years. The large hole carved out by the rough waves looks like a work of art created by nature, captivating visitors. This unique terrain is home to a legend that once upon a time, a naval fleet set sail from here, making it a place steeped in history and romance that has been passed down through generations of islanders.



合戸の穴

Hole of Goto

● 北浦港の北側
North side of
Kitaura Port



伊吹島の北浦に位置する「合戸の穴（ごうとうのあな）」は、自然の岩肌を利用してつくられた大きな洞窟で、島の歴史と伝承を伝える貴重な場所です。内部は想像以上に広く、戦時中には油や火薬の保管庫として利用されていたと伝えられています。また、かつて海賊や盗賊が住み着いていたとも語り継がれています。昔は盗賊のことを「ガンドウ」と呼んでいたため、その呼び名がなまって「合戸（ごうとう）」と呼ばれるようになったといわれています。

Located in Kitaura on Ibuki Island, “Goto no Ana” is a large cave created using natural rock formations and is a valuable site that conveys the history and folklore of the island. The interior is surprisingly spacious, and it is said that during the war it was used as a storage facility for oil and gunpowder. It is also said that pirates and bandits once lived there. In the past, thieves were referred to as “Gandou,” and it is said that this name evolved into “Goutou.”

ピンク色に染まる海

夕陽が西の空に傾き始めると、瀬戸内海の穏やかな水面は少しずつ色を変え、やがて柔らかなピンク色に染まっていきます。その光景はまるで絵画のようで、島の静けさと相まって心を包み込むような安らぎを与えてくれます。都会では味わうことのできない自然が織りなす絶景です。

Photo : Takashi Sawarame